

報道関係各位

【武蔵野美術大学】全国の子供たちに本物の作品と出会う体験を届けたい。 創立100周年に向けて『旅するムサビプロジェクト』の クラウドファンディングを開始！



本日2026年7月3日（金）から8月30日（日）まで支援を募ります。

詳細はこちら：<https://camp-fire.jp/projects/952071/view>

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：樺山祐和）は、2029年に創立100周年を迎えるにあたり、芸術・デザインの力をより広く社会へ届ける新たな取り組みとして、クラウドファンディングを100周年事業の一環として開始いたします。

今回のクラウドファンディングでは、大学が主体となり、教育・研究・社会連携の領域から、未来に向けた複数のプロジェクトを展開します。その中でも、地域とアートをつなぐ本学独自の取り組み「旅するムサビプロジェクト（旅ムサ）」は、多くの方々に親しまれてきた活動であり、今回クラウドファンディングを通じて広く支援を募ることとなりました。

「旅するムサビプロジェクト」とは？

武蔵野美術大学の学生が自らの作品を携え、全国の小中学校や地域へ赴き、対話型鑑賞や黒板ジャック、ワークショップ、公開制作などを行う課外活動です。

本学卒業生である中学校の美術教員の「生徒に本物の美術作品を見せたい」という声をきっかけに、学生の作品を学校へ持ち込み、鑑賞授業を行ったことから2008年にスタートしました。

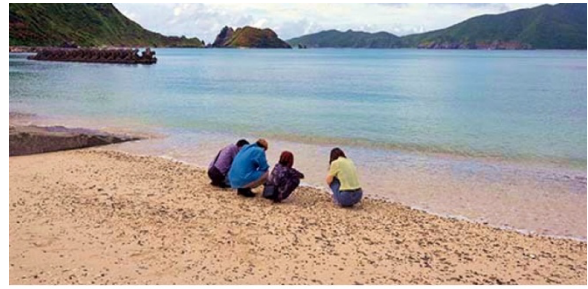
以来、旅ムサでは単に作品を“見せる”だけでなく、学生と子どもたち、先生方、地域の方々が一緒に感じ、考え、対話する場を作ってきました。学生が一方向的に教えるのではなく、作品を前に子どもたちと一緒に感じ、考え、対話することを大切にしています。

旅ムサは、2008年開始から17年間にわたって25都道府県と海外で590回以上実施し、2017年にはグッドデザイン賞を受賞しました。



作品を持って、子どもたちのもとへ

学生が全国を訪れ、本物の作品と対話の時間を届けます



届けたい場所が、まだたくさんあります

交通費や運営費の確保が、活動継続の課題です

プロジェクト立ち上げの背景

美術の専任教員の減少や学校現場の多忙化、美術館のない地域もあり、子どもたちが本物の作品に出会ったり、自分の感じたことを表現したりする機会は、以前よりも少なくなってきました。

旅ムサは、こうした学校や地域に、学生自身の作品と対話の場を届ける活動として続けてきました。

しかし、旅ムサは学生の自主的な企画・運営によって成り立っている活動であり、これまでは学生の自己負担や大学からの補助、自治体・企業等からの支援を組み合わせながら運営してきました。

近年は、十分な資金を継続的に確保することが難しくなっています。

特に学生の交通費負担が大きく、参加したくても費用面で断念する学生がいる、良い企画があっても継続・拡大しづらい、さまざまな地域からの声があってもすべてに応えきれないという課題が起きています。

この活動をこれからも全国で継続し、より多くの子どもたちへ届けていくために、今回クラウドファンディングに挑戦します。温かいご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

■クラウドファンディングプロジェクト概要

タイトル：【武蔵野美術大学】本物の美術体験を全国へ。「旅するムサビプロジェクト」

募集金額：300万円

資金使途：全国各地での活動に伴う学生の交通費・宿泊費の補助、作品運搬や材料費などの企画運営費等

募集期間：2026年7月3日（金）10時～2026年8月30日（日）

プロジェクトURL：<https://camp-fire.jp/projects/952071/view>

媒体：CAMPFIRE

方式：All-in方式 ※目標金額の達成の有無に関わらず、集まった支援金を受け取ることができる方式です。

ギフト：3千円～50万円まで計20コース。

「MAUミニクロッキー帳」「オンライン活動報告会」「お礼メッセージ」「黒板ジャックサポーター」など



学長コメント



樺山祐和学長

日頃より本学の教育・研究活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

旅するムサビプロジェクトは、学生が地域に赴き、人々対話しながら新たな価値を生み出す実践の場です。美術の力を身近に感じていただくと同時に、学生自身も大きく成長する機会となります。

本プロジェクトにて、より多くの地域へ美術の魅力と可能性を届けるため、クラウドファンディングを通じた皆様のご支援をお願い申し上げます。

皆様からの温かいご協力が、学生の学びを支え、創造の輪を全国へ広げる大きな力となります。

武蔵野美術大学について



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学 連携共創チーム

social@musabi.ac.jp